

固定資産台帳(R6.3.31現在)の概要

固定資産台帳は、事業を行うための資産及び道路・河川などのインフラ施設等の固定資産について、その取得と除却処分までの情報を把握・管理するとともに、全国統一的な基準に基づく財務書類の前提となっているものです。

本県の有形固定資産の合計では、取得価額が2兆9,257億円、減価償却累計額が1兆3,240億円、差引きの現在簿価額が1兆6,016億円となっております。
また、現在簿価額のうち、事業用資産が4,622億円、インフラ資産が1兆1,257億円、物品が137億円となっております。

なお、有形固定資産(土地、立木竹、建設仮勘定等の非償却資産を除く)の取得価額に対する減価償却累計額の割合を「有形固定資産減価償却率」といい、耐用年数に対してどの程度経過しているのかを把握することができますが、本県においては54.0%となっております。

(単位:百万円)			
	取得価額	減価償却累計額	現在簿価
事業用資産	697,642	235,465	462,177
土地	155,188	0	155,188
立木竹	153,188	0	153,188
建物	358,932	216,311	142,622
工作物	26,049	17,240	8,809
船舶	0	0	0
浮標等	0	0	0
航空機	2,394	1,915	479
その他	0	0	0
建設仮勘定	1,890	0	1,890
インフラ資産	2,204,311	1,078,577	1,125,734
土地	131,220	0	131,220
建物	27,662	17,072	10,591
工作物	2,014,431	1,061,501	952,930
その他	53	5	48
建設仮勘定	30,944	0	30,944
物品	23,703	9,974	13,729
有形固定資産合計	2,925,656	1,324,017	1,601,639

※ 表示単位未満四捨五入の関係で積上げと合計が一致しない場合がある。

★ 有形固定資産減価償却率

=

減価償却累計額(1,324,017百万円)

土地・立木竹・建設仮勘定を除く取得価額(2,453,224百万円)